

第1回 学術大会プログラム

9:50~10:00 開会の辞 新村真人

10:00~10:45 一般口演1 座長 三橋善比古

- 1 レックリングハウゼン病（神経線維腫症1型）の診断・治療ガイドライン
吉田雄一（鳥取大皮膚科）
- 2 左殿部から左下肢にかけて生じたmosaic neurofibromatosis 1 型の1例
山名やよい、竹中祐子、林 伸和、石黒直子、川島 眞（東京女子医大皮膚科）
- 3 神経線維腫症1 型のモザイクの親から神経線維腫症1 型の子供が生まれた4家族
谷戸克己、太田有史、中川秀己、新村真人（慈恵医大皮膚科）、澤田俊一（横浜市）

10:45~11:30 一般口演2 座長 今福 信一

- 4 小児病院遺伝外来における神経線維腫症1型のフォロー体制
黒澤健司（神奈川県立こども医療センター遺伝科）
- 5 巨大な傍脊椎腫瘍を合併し非侵襲的陽圧呼吸器管理を導入した神経線維腫症1型
の16歳男児例
西村洋子、山本敦子、宮城崇史、松井潔（神奈川県立こども医療センター総合診療科）
- 6 Neurofibromatosis 1 (NF1) にみられるUnidentified Bright Objects (UBOs)
倉持 朗（埼玉医大皮膚科）、西川 亮（埼玉医大国際医療センター脳神経外科）、
水越和歌（埼玉医大国際医療センター画像診断科）、田中淳司（埼玉医大放射線科）

11:30~12:30 招待講演 座長 新村 真人

Von Recklinghausen Disease:

Beyond Neurofibromas and Skin Pigmentation To The Neurofibromatome

Vincent M. Riccardi (The Neurofibromatosis Institute, La Crescenta, California)

12:40~13:40

懇親会

会場：慈恵大学病院 レストラン

14:00~14:30 会長講演 座長 大塚 藤男

レックリングハウゼン病とともに40年

新村真人（東京慈恵会医科大学）

座長・発表者の皆様へのお願い

I. 座長の皆様へ

- 10分前までに次座長席にお着きください。
- 全体の時間配分についてはご一任致します。終了時間をお守りください。

II. 発表者の方へ

- 発表30分前までに来場チェックをお済ませの上、発表15分前までに会場にお入りください。
- 前演者が登壇の後、必ず次演者席にご着席ください。
- 発表時間
 - 教育講演：5分程度の討論を含めて20分
 - 一般口演：3分程度の討論を含めて15分
- 発表は全てPC（パソコン）による発表のみで、一面映写です。
- お持ちこみいただけるメディアは、USBメモリー、PC本体のみです。
- 会場に用意するPCはWindows XPで使用するアプリケーションはWindows版Power Point 2003、Power Point 2007です。他のVersionで作成された方は、予め動作状況をご確認ください。
- MacintoshはPC本体の持込のみ、一般的な15pinモニターケーブルに接続して対応致します。
- 事務局で用意したPC内にコピーした発表データにつきましては、発表終了後、学会事務局で責任をもって削除いたします。